

奈良佐保短期大

一緒に遊んで笑顔

児童らとクリスマス会

奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学（池内ますみ学長）で4日、毎年恒例のクリスマス会が開かれた。県

の図り方などを学んでもらおうと約10年前から実施している。

里親会（松府憲光会長）の子どもたちと保護者約70人が、同大学地域こども学科の学生と一緒に一足早くクリスマス気分を味わった。保育士や幼稚園教諭などを目指す学生に、子どもたちとのコミュニケーション

松府会長が「短い時間ですが全力で楽しみましょう」とあいさつ。じゃんけんやビンゴゲーム、ボールリレーなどを一緒に楽しみ、サンタやトナカイに扮した学生から子どもたちにプレゼントが手渡された。最後は全員で「ジングル

子どもたちにクリスマスプレゼントを手渡す地域こども学科の学生＝4日、奈良市鹿野園町の奈良佐保短期大学



ベルなどのクリスマスソングを合唱。会場は子どもたち「てくれる子もいてかわいかった」と話していた。

ちの笑顔であふれた。司会などを務めた同学科2年の西口怜那さん（19）は「不安もあったがスムーズに進行できたし、子どもたちの反応も良くて楽しかった。甘え